

第43回潮来市長杯スポーツ少年団球技大会（軟式野球の部）

開催要項

- 主 旨 各所属の少年スポーツ愛好チームが一同に会して交流試合を行い技術の向上と競技の喜びを経験させるとともに、仲間意識と連帯感を高揚し少年スポーツ活動の普及、振興を図る。
- 主 催 潮来市スポーツ少年団
- 主 管 潮来市スポーツ少年団野球部
- 後 援 潮来市・潮来市教育委員会
潮来市スポーツ協会
青少年育成潮来市民会議
- 期 日・会 場

期 日		会 場
第1日目	12月5日（土）	かすみの郷グラウンド（A面・B面） ※参加申し込みチーム数によって5日間でを行う可能性がございます。
第2日目	12月6日（日）	
第3日目	12月12日（土）	
第4日目	12月13日（日）	

※予備日 12月19日（土）、12月20日（日）

※参加申し込みチーム数によって5日間でを行う可能性がございます。

日程、会場等の詳細については、組合せをお知らせするときに併せてご連絡します。

※雨等で開催が不安視される場合、態度決定は午前6時に潮来市ホームページに掲載いたします。

問い合わせ先

潮来市生涯学習課（中央公民館内）スポーツ少年団担当 小島 （TEL0299-66-0660）

- 試 合 方 法 トーナメント方式
- 参 加 資 格
 - チーム編成は原則単独チームとする。
選手人数が足りない場合は、例外的に補充を認める。
 - 選手は保護者の同意を得ること。
 - 令和8年度のスポーツ少年団団員で、スポーツ安全保険に加入していること。
（監督、コーチも加入のこと）
- 表 彰 優勝（賞状・楯・金メダル）・準優勝（賞状・楯・銀メダル） ・第三位×2（賞状・楯）
最優秀選手賞（賞状） ・優秀選手賞（賞状）
- 参 加 費 **8,000円**／チーム（申込締切までに、指定の口座に振り込み下さい。）
【振込先】 常陽銀行 潮来支店 普通口座 No. 6118600
潮来市スポーツ少年団 本部長 飯島 康弘（イイジマヤスヒロ）
※事故防止のため当日の現金の取扱いは致しませんので、申込締切日までに必ず振込による方法をお願いします。なお、振込の際は、名義人をチーム名にするようにお願いします。
また、振込手数料はご負担願います。
- 開 閉 会 式 開会式は、試合日程、会場の都合上行いません。
閉会式（表彰式）は、全日程終了後に決勝戦会場にて行います。
※ 最終日に出場するチームのみ参加すること
- 組合せ抽選並びに配布 大会本部事務局にて代理抽選を行い、各チームへ組合せを送付します。（11月中旬予定）
※組み合せや日程等のご希望はお受け致しません。
- 申 込 締 切 **令和8年10月30日（金） 必着厳守**
※電子申請を開始しました。是非ご利用ください。
申込締切までに、潮来市生涯学習課（中央公民館内）へ参加申込書を提出してください。
【申込み先】
〒311-2423 潮来市日の出3丁目1番地
潮来市生涯学習課（中央公民館内） スポーツ少年団担当 小島 まで
TEL 0299-66-0660 FAX 0299-66-4339
E-mail : h.kojima@city.itako.lg.jp
- そ の 他
 - 出場チームの交通費、食事代は各単位団負担のこと。
 - 大会中の事故・ケガ等の処理は応急処置のみを行い、チーム代表者に一任する。尚、主催者は一切の責任は負わない。



（電子申請QRコード）



（LINEQRコード）

《 競 技 方 法 及 び 規 則 》

○ 軟式野球の部

1. 競技規則

- (1) 「2026年度公認野球規則」及び競技者必携の学童に関する事項ならびに特別規則を適用する。
※ 一日の最大投球数は70球とする。(小学4年生以下は60球)
- (2) 試合球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールJ号とし、バット、マスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、ファウルカップは全日本軟式野球連盟(J S B B)公認の物とする。

2. 参加資格

- (1) 小学6年生までの児童で、硬式ボール及びKボールを使用している団体に登録している選手は、認めない。
- (2) ベンチには、監督、コーチを含む登録選手(20名以内)、責任者、スコアラー、マネージャー以外の者は入れない。

3. 大会規定及び申し合わせ事項

- (1) 参加チームは、試合開始予定1時間前までに到着し、大会本部にて受付を行うこと。
- (2) 第1試合のチームは、試合開始予定時刻の30分前にメンバー表3部と**試合球3球**を本部に提出し主将のジャンケンにて攻守を決める。なお、第2試合以降のチームは、試合予定時刻の1時間前までに会場到着し、前試合の4回終了時にメンバー表3部と**試合球3球**を本部に提出すること。
- (3) 試合は6回戦とし、試合時間は80分として、75分を過ぎて新しいイニングに入らない。ただし、3日目以降は試合時間を90分として、85分を過ぎて新しいイニングに入らない。なお、後攻のチームが勝っていて攻撃中の場合、その時点で攻撃を打ち切るものとする。同点の場合は新しいイニングに入らないでタイブレーク方式(1回)で勝敗を決する。さらに同点の場合には、抽選とする。なお、決勝戦の場合は、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。
- (4) コールドゲームは、5回以降7点以上得点差があった場合に適用する。
- (5) シートノックは原則5分間とし、ノッカーは、必ず選手と同一のユニフォームを着用すること。
- (6) 暗黒及び降雨などで試合が途中で中止になった場合は、5回以降試合成立とする。なお、試合が不成立の場合、再試合は1回戦から改めて行う。
- (7) 抗議権は、監督及び主将とする。
- (8) ベンチは、組合せ番号の若い方が1塁側とする。
- (9) 出場チームは、必ずユニフォームを着用し、背番号を付けること。(監督、コーチも同じ)
- (10) 打者・走者はヘルメット、捕手は守備時のヘルメット、プロテクター、レガース、ファウルカップを必ず着用すること。(投球練習時の控え捕手もマスク、プロテクターを着用)
次打者・ランナー・ベースコーチもヘルメットを着用すること。
- (11) 審判については、以下のとおりとする。
 - ① 球審は、全て主催者が行う。なお、最終日の審判は全て主催者が行う。
 - ② ボール出しについては対戦チームで行い、スコアについては大会本部が行う。
 - ③ 帯同審判については、組合せ抽選会後(11月6日以降)に決定いたします。
- (12) 試合球は、各チーム3個持参し、それを使用すること。